



2008年度 第3四半期決算

カンファレンスコール用資料

2009年2月5日

参天製薬株式会社



2008年度 第3四半期

連結累計期間 業績概要

管理本部長

原田 哲



2008年度第3四半期連結累計期間 決算概況

(単位：億円)

	2007年度 3Q累計 実績	2008年度* 3Q累計 実績	対前年 同期 増減率
売上高	792.9	778.1	- 1.9%
営業利益	166.8	114.9	- 31.1%*
経常利益	170.9	123.4	- 27.8%*
純利益	107.6	77.0	- 28.4%*

*2008年6月2日、DE-109(シロリムス)導入契約締結に伴う一時金の支払発生により、研究開発費が期初業績予想比で53億円増加。同年6月10日、業績見直し修正。



販売部門別売上高および海外売上高

■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2008年度 3Q累計実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	626.3	- 1.0 %	97.8	- 2.6 %	724.1	- 1.2 %
眼科薬	549.1	- 1.2 %	96.9	- 2.3 %	646.0	- 1.4 %
抗リウマチ薬	74.9	- 0.2 %	0.6	- 40.7 %	75.6	- 0.8 %
その他医薬品	2.2	19.6 %	0.2	67.7 %	2.4	23.0 %
一般用医薬品	40.1	- 4.9 %	0.0	- 54.6 %	40.2	- 5.1 %
医療機器	4.1	33.7 %	—	—	4.1	28.0 %
その他	3.7	- 16.4 %	5.8	- 39.1 %	9.5	- 31.9 %
合計	674.3	- 1.2 %	103.7	- 6.0 %	778.1	- 1.9 %

■ 海外売上高

(単位：億円)

	2007年度 3Q累計実績	2008年度 3Q累計		
		実績	増減額	増減率
欧州	63.1	66.9	3.8	6.1 %
北米	11.9	6.0	- 5.9	- 49.1 %
アジア	35.1	30.6	- 4.5	- 12.7 %
その他	0.1	0.0	- 0.1	- 79.5 %
合計	110.2	103.7	- 6.5	- 6.0 %

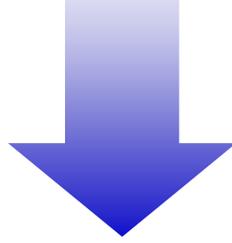


売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2007年度
第3四半期
連結累計期間**

**実績売上高
792.9億円**

- 14.8億円



**2008年度
第3四半期
連結累計期間**

**実績売上高
778.1億円**

国内 -8.3億円

[増収要因]

・ 医療機器 +1.0億円

[減収要因]

- ・ 医療用眼科薬 -6.7億円
- ・ 抗リウマチ薬 -0.2億円
- ・ 一般用医薬品 -2.1億円

海外 -6.5億円

[増収要因]

- ・ 欧州 +3.8億円
- うち、為替 -3.1億円

[減収要因]

- ・ 北米 -5.9億円
- うち、為替 -0.2億円
- ・ アジア -4.5億円

国内医療用眼科薬

- ・ 緑内障 -1.2億円
- うち、タプロス +7.6億円
- ・ 角膜 +5.7億円
- ・ 抗菌 -6.8億円
- ・ アレルギー -1.9億円
- ・ その他 -2.5億円

欧州

- ・ 医療用眼科薬 +4.0億円
- うち、東欧 +1.6億円
- うち、ドイツ +1.1億円
- うち、ロシア +1.6億円
- ・ 受託製造 他 -0.1億円

北米

- ・ 医療用眼科薬 -2.2億円
- ・ 受託製造 他 -3.6億円



損益計算書の要約(対前年同期比較)

(単位：億円)

	2007年度	2008年度		主な増減要因	2008年度 通期見込
	3Q累計実績	3Q累計実績	増減		
売上高	792.9	778.1	- 14.8	(詳細は前述)	1,040.0
売上原価 (対売上高比率)	278.1 35.1%	270.8 34.8%	- 7.3 - 0.3pt	・品目構成の変化：-0.6% ・薬価改定の影響：+0.5%	363.0 34.9%
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	347.9 43.9%	392.2 50.4%	44.3 6.5pt		526.0 50.6%
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	250.5 31.6%	241.2 31.0%	- 9.3 - 0.6pt	・国内：販売費減少(-3億円) ・欧米：販売費減少(-5億円)	332.0 31.9%
研究開発費 (対売上高比率)	97.4 12.3%	151.0 19.4%	53.6 7.1pt	・網膜関連(+51億円)	194.0 18.7%
営業利益 (対売上高比率)	166.8 21.0%	114.9 14.8%	- 51.9 - 6.2pt		151.0 14.5%
営業外収支	4.1	8.4	4.3		5.0
営業外収益	9.7	14.7	5.0		8.0
営業外支出	5.6	6.3	0.7		3.0
経常利益	170.9	123.4	- 47.5		156.0
特別損益	1.7	- 0.4	- 2.1		0.0
特別利益	2.3	0.1	- 2.2		0.0
特別損失	0.6	0.5	- 0.1		0.0
税引前純利益	172.7	123.0	- 49.7		156.0
法人税等	65.1	46.0	- 19.1	税率：37.6%(07FY3Q)、37.4%(08FY3Q)	58.0
純利益	107.6	77.0	- 30.6		98.0

<為替レート> 2007年度3Q実績 2008年度3Q実績

US\$ 117.37円 103.05円

Euro 162.33円 155.00円

所在地別セグメント情報

■ 外部顧客に対する売上高

(単位：億円)

	2007年度 3Q累計実績	2008年度 3Q累計	
		実績	増減額
日本	711.9	698.0	- 13.9
欧州	75.9	74.6	- 1.3
うち欧州向け	64.0	68.5	4.5
うち米国向け	11.9	6.0	- 5.9
その他 ※	5.0	5.4	0.4
合計	792.9	778.1	- 14.8

■ 営業利益

	2007年度 3Q累計実績	2008年度 3Q累計	
		実績	増減額
日本	183.0	132.6	- 50.4
欧州	4.4	3.2	- 1.2
うち欧州向け	- 0.7	2.6	3.3
うち米国向け	5.1	0.6	- 4.5
その他 ※	- 5.7	- 2.9	2.8
消去又は全社	- 14.9	- 18.0	- 3.1
合計	166.8	114.9	- 51.9

※その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります

貸借対照表

(単位：億円)

	2008年3月末		2008年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,027.5	65.6 %	954.0	64.3 %	- 73.5
固定資産	535.4	34.2 %	530.8	35.7 %	- 4.6
繰延資産	2.4	0.2 %	-	-	- 2.4
資産合計	1,565.4	100.0 %	1,484.8	100.0 %	- 80.6
流動負債	265.6	17.0 %	210.4	14.2 %	- 55.2
固定負債	28.6	1.8 %	31.7	2.1 %	3.1
負債合計	294.2	18.8 %	242.2	16.3 %	- 52.0
純資産合計	1,271.1	81.2 %	1,242.6	83.7 %	- 28.5
負債純資産合計	1,565.4	100.0 %	1,484.8	100.0 %	- 80.6

【主要変動科目】

- 流動資産：現金及び預金 -26.1億円、有価証券 -46.7億円
- 流動負債：未払金 +32.7億円、一年以内返済予定の長期借入金 -50.1億円、未払法人税等 -25.5億円、賞与引当金 -12.6億円
- 純資産：利益剰余金 +9.4億円、その他有価証券評価差額金 -13.7億円、為替換算調整勘定 -25.3億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位：億円)

	2008年度 3Q累計実績
現金等期首残高	516.6
現金等 増減額	- 84.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	72.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	- 32.9
財務活動によるキャッシュ・フロー	- 117.0
現金等に係る換算差額	- 7.3
現金等期末残高	431.7

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2007年度 3Q累計実績	2008年度 3Q累計	
		実績	増減額
設備投資額	22.0	24.8	2.8
減価償却費	24.8	25.2	0.4
リース料	7.9	7.1	- 0.8

■設備投資 2008年度3Q実績 主要項目

- 中国での工場建設投資 4億円
- 奈良研究開発センター第3期工事 12億円



2008年度 第3四半期

新製品開発の現状

常務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 2Q発表時からの変更点)

グローバル戦略品
グローバル品
日本 (アジア) 品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障		DE-104 ROCK阻害薬	中国	DE-085 タフルプロスト 韓国	日本 欧州
		DE-092 オルメサルタン			
角膜疾患	DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-101 リボグリタゾン		DE-089 ジクアホソル ナトリウム	
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 アレルギー リウマチ		DE-103 PDE4 阻害薬	DE-108 レボフロキサシン		
		DE-098 抗APO-1 抗体			



主要臨床プロジェクトの現状 (DE-085)

■DE-085、日本:タプロス、欧州:TAFLOTAN (緑内障・高眼圧症)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	上市 (2008年12月～)	製造販売承認 (2008年10月16日)	申請時期 (2006年7月)
欧州	上市* (2008年6月～)	上市 (2008年6月～)	承認時期 (2008年4月～)
アジア	韓国:販売申請 中国:P3実施中	韓国:販売申請 中国:P3実施中	韓国:申請時期 (2007年11月)

*:ドイツ、デンマーク、フィンランド、スウェーデンにて上市(下線国:前回より追加)

米国	今後、事業化を踏まえた上、申請するか否かを決定
----	-------------------------



主要臨床プロジェクトの現状 (DE-089)

■DE-089 (ドライアイを含む角結膜上皮障害)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	製造販売承認 申請中	製造販売承認 申請中	一般名: ジクアホソルナトリウム 申請時期: 2008年5月



主要臨床プロジェクトの現状 —緑内障・高眼圧症—

■DE-092

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日米欧	開発中止	P2パイロット試験	一般名:オルメサルタン

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P2	P2	一般名:塩酸ロメリジン

■DE-104

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
米国	P2	P2	ROCK阻害剤
日本	P2	P2	



主要臨床プロジェクトの現状 —角膜疾患(ドライアイを含む)—

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
米国	P2	P2	一般名:リボグリタゾン
日本	P2	P2	

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本/米国	P2準備中	P1	ペプチド組合せ剤



主要臨床プロジェクトの現状 —網膜疾患—

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P1/2a	P1/2a	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P1/2a準備中	P1/2a準備中	一般名:シロリムス

* MacuSight社より導入。日本を含むアジアでの眼科領域の開発・販売権を保有。

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-103 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	開発中止	P2	PDE4 阻害剤

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P3	P3準備中	高濃度レボフロキサシン

■DE-098* 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/7発表時)	
日本	P1/2a	P1/2a	抗APO-1抗体
欧州	P1/2a	P1/2a	

* Argenes社に導出。国内販売権、海外開発販売権は当社が保有。



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。



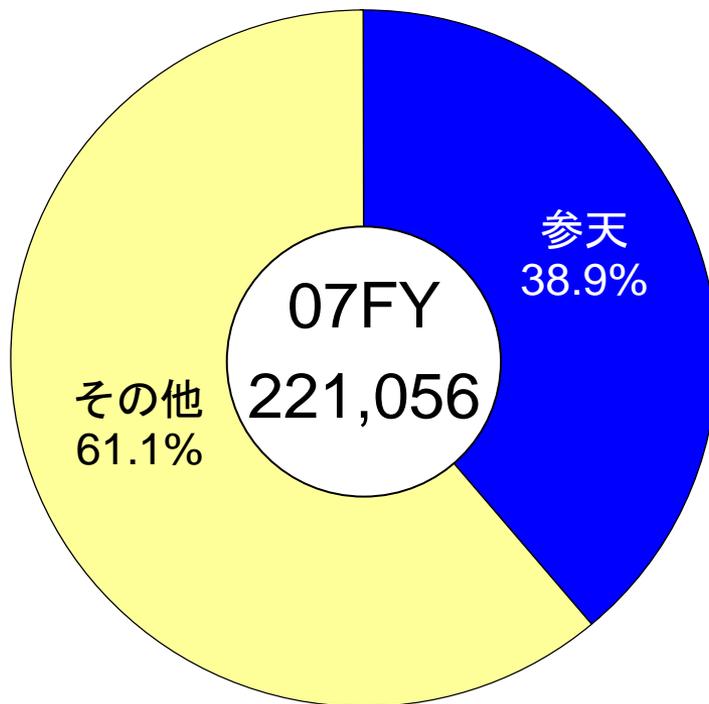
参考資料
国内医療用医薬品市場概況
(眼科薬・抗リウマチ薬)



国内医療用眼科薬：会社別売上構成(合計)

- ・参天は売上第1位で、2番手メーカーに対しても2倍以上の規模を保持。
- ・会社シェアでは08FY3Q累計で38.9%と07FY通期レベルを維持。08年12月単月は39.8%。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

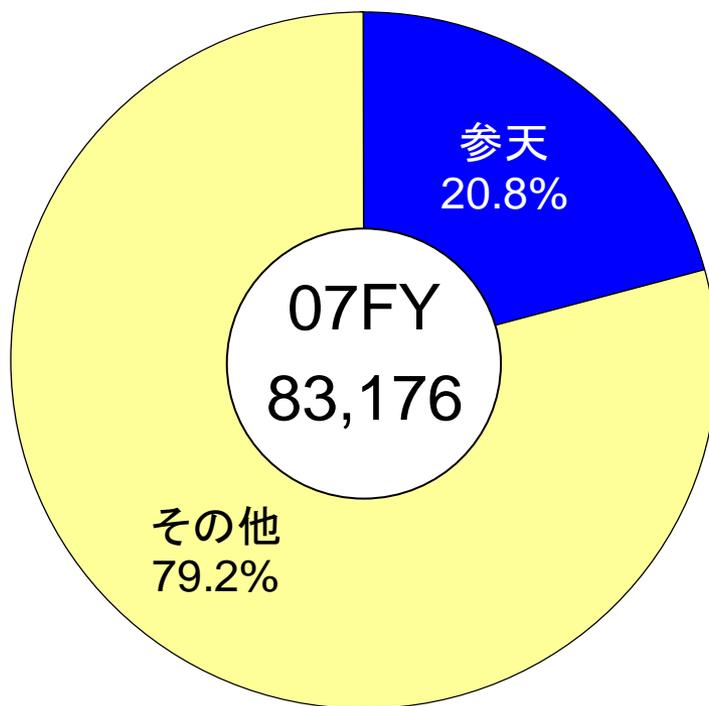
		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		40.9%	39.7%	38.9%	38.9%	39.8%
対前年比	参天金額	+6.1%	-2.2%	+0.8%	-0.6%	+6.0%
	市場 金額	+2.6%	+0.6%	+3.1%	+1.3%	+5.3%
	数量	-1.0%	+2.1%	+0.2%	+1.5%	+4.9%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成(抗緑内障剤)

- ・市場規模は830億円。眼科薬最大領域であり、直近の08FY3Q累計で対前年+1.9%と成長している。
- ・参天は現在はNo.2の地位。08年12月に新発売のタプロスが加わり、単月シェアは23.6%に。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
チモプトール、
チモプトールXE、
レスキュラ、
デタントール など

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

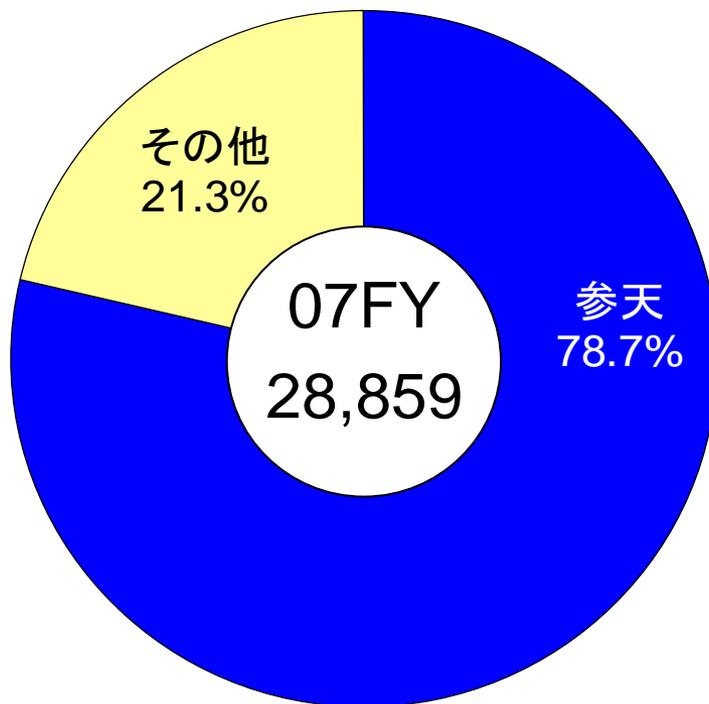
		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		23.2%	22.1%	20.8%	20.1%	23.6%
対前年比	参天金額	+22.0%	-3.6%	-2.1%	-3.0%	+23.2%
	市場 金額	+5.5%	+1.1%	+4.0%	+1.9%	+8.0%
	数量	+2.2%	+4.4%	+1.2%	+2.5%	+6.9%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成 (角膜疾患治療剤)

- ・成長度が大きい市場。直近の08FY3Q累計では対前年+6.3%。
- ・参天にとっては最も競争力の高い領域であり、約8割の金額シェアと、直近で前年比約5%の成長を維持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*角膜疾患:
ドライアイを中心とする
角結膜上皮障害

*参天:
ヒアレイン など

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

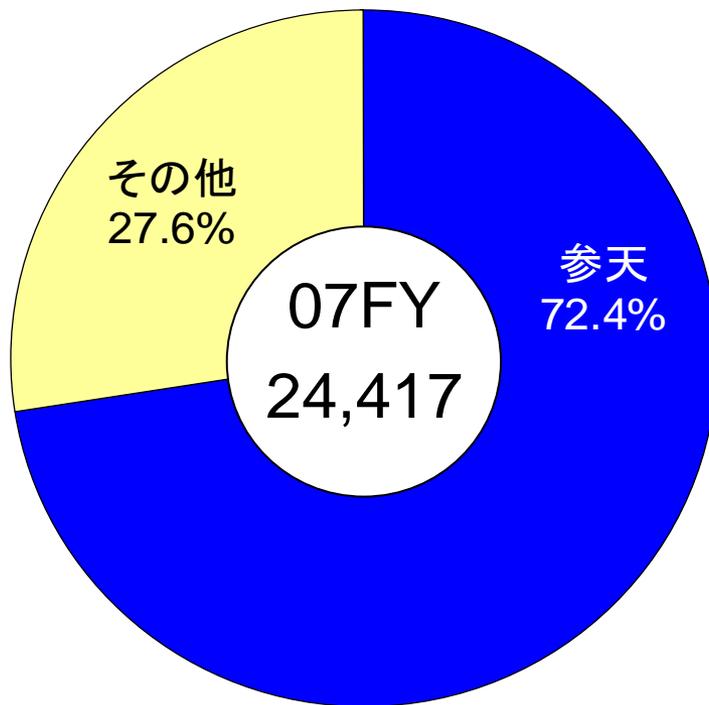
		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		80.7%	79.3%	78.7%	77.8%	77.9%
対前年比	参天金額	+10.3%	+1.9%	+8.1%	+4.9%	+5.9%
	市場 金額	+10.7%	+3.6%	+9.0%	+6.3%	+7.7%
	数量	+8.4%	+6.8%	+7.2%	+8.4%	+11.1%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成(抗菌点眼剤)

- ・市場規模は約240億円。08FY3Q累計の対前年伸び率は-2.9%と微減傾向。
- ・参天にとっては角膜領域に次いで競争力が高く、約7割のシェアを保持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
クラビット、
タリビッドなど

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

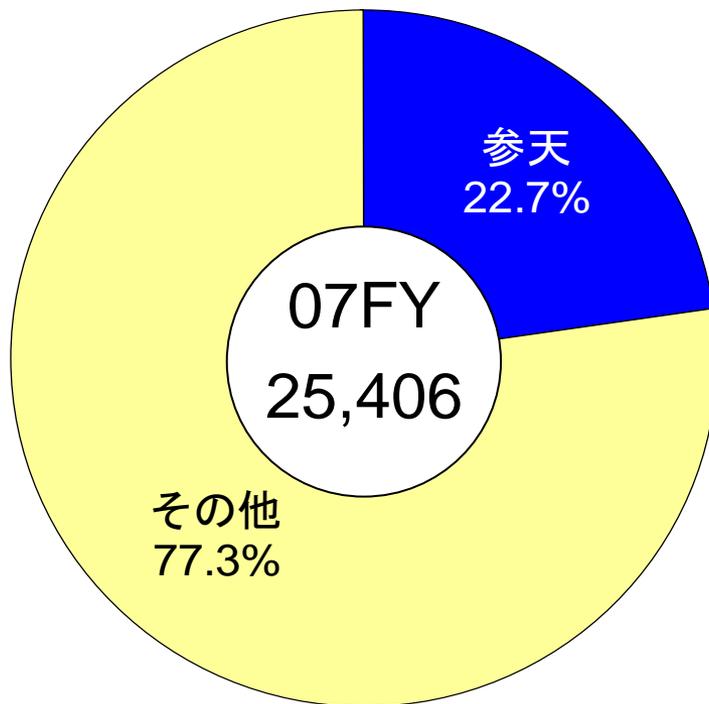
		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		77.4%	75.1%	72.4%	70.9%	69.8%
対前年比	参天金額	-2.5%	-6.0%	-4.9%	-5.0%	-3.1%
	市場 金額	+0.5%	-3.1%	-1.3%	-2.9%	-1.9%
	数量	-1.2%	+0.9%	-3.3%	-0.6%	+0.4%



国内医療用眼科薬：主要品売上構成 (抗アレルギー剤)

- ・市場規模は250億円。年ごとの変動が大きいものの、08FY3Q累計の対前年伸び率は+2.6%。
- ・競合新製品の上市により競争は激化しているが、参天は08FY3Q累計時点でNo.1の地位を保持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*参天:
リボスチン、
アレキサール

出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

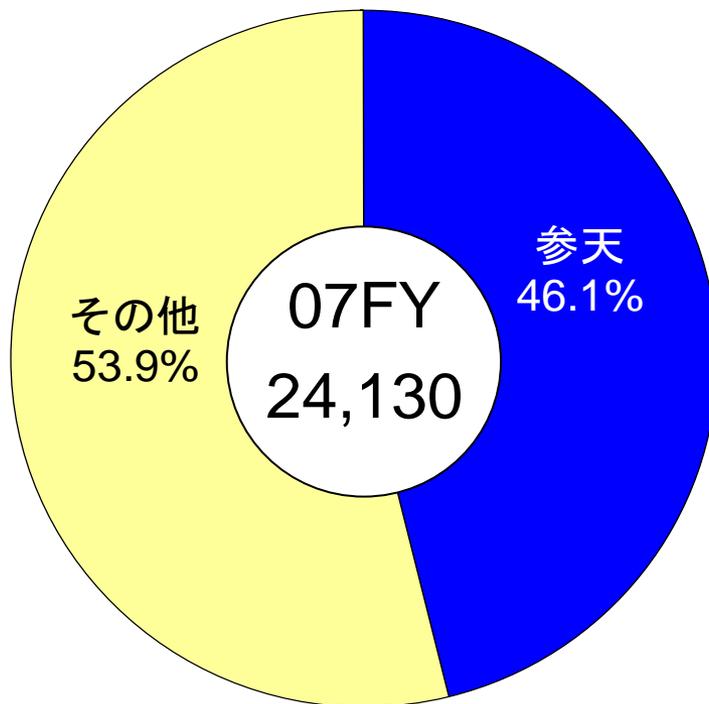
		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		24.8%	24.3%	22.7%	23.6%	22.0%
対前年比	参天金額	-3.9%	-1.7%	-4.0%	-2.0%	-10.9%
	市場 金額	-13.2%	+0.3%	+2.6%	+2.6%	+0.6%
	市場 数量	-12.9%	+6.5%	+1.0%	+6.3%	+4.5%



国内医療用抗リウマチ薬：主要品売上構成(DMARDs*)

- ・市場規模は240億円。薬価改定の影響は受けるものの、直近の08FY3Q累計では前年に対し+1.9%。
- ・参天は学会が定めた治療ガイドライン「推奨度A」の3剤を擁し、45%強の市場シェアでDMARDsカテゴリーにおけるNo.1の地位を保持。

市場規模: 百万円
%は金額シェア



*DMARDs:
「疾患修飾性抗リウマチ薬」免疫機能を是正する
*参天:
リマチル、アザルフィジンEN、メトレート

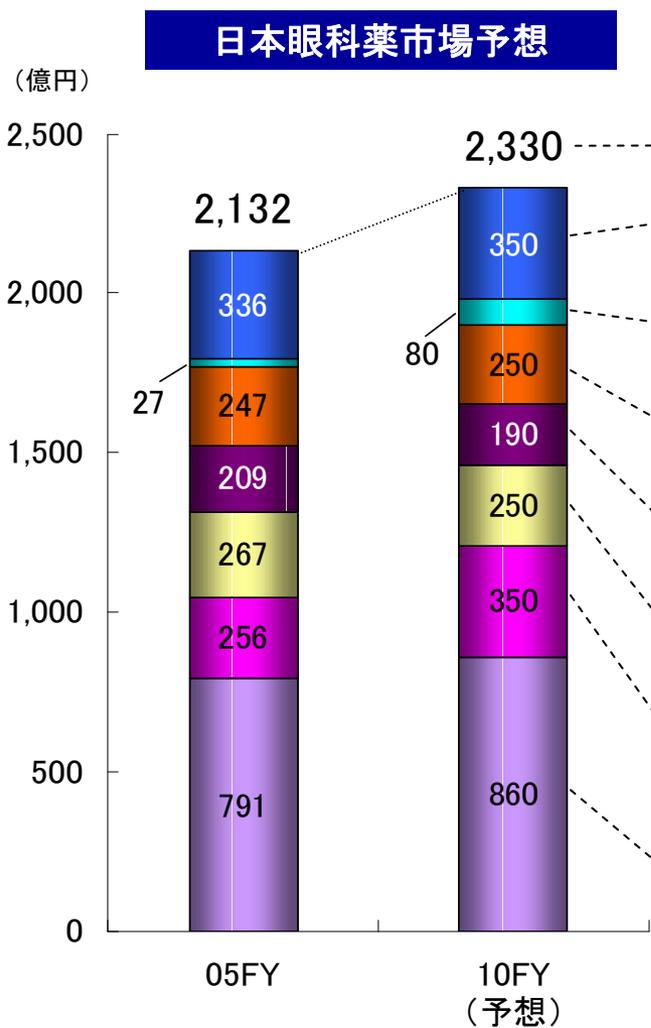
出典: ©2009 IMS Japan
IMS-JPM 2005-08
無断転載禁止

		05FY	06FY	07FY	08FY3Q累計	(参考) 08年12月
参天金額シェア		45.2%	46.3%	46.1%	45.3%	45.2%
対前年比	参天金額	+7.6%	0.0%	+3.3%	-0.1%	+1.2%
	市場 金額	+2.0%	-2.3%	+3.7%	+1.9%	+3.1%
	数量	+0.8%	+3.7%	+0.4%	+3.2%	+4.3%



【参考】成熟した日本市場における高成長の実現

- 薬価改定や競合激化により市場環境が厳しくなる状況下、緑内障、角膜疾患、網膜疾患にフォーカスすることで高成長を目指す



	CAGR (05-10FY)	参天主力品 (既存品)	参天シェア (08FY3Q累計)	主要パイプライン
眼科計	+2%程度		38.9%	
その他	+1%程度	オペガンハイ カリーユニ	43.3%	
網膜疾患 (DME/AMD)	+24%程度	—	—	DE-109 DE-102
抗アレルギー	+0.5%程度	リボスチン	23.6%	
抗炎症	-1%程度	フルメロン	34.2%	
抗菌点眼	-1%程度	クラビット タリビッド	70.9%	DE-108
角膜疾患 (ドライアイ)	+6%程度	ヒアレイン	77.8%	DE-089 DE-101 DE-105
緑内障	+3%程度	タプロス チモプトール/XE レスキュラ デタントール	20.1%	DE-104 DE-090

・数値は全て薬価ベース